



鹿屋運動公園陸上競技場での市民体育祭

昔 昭和37年10月21日

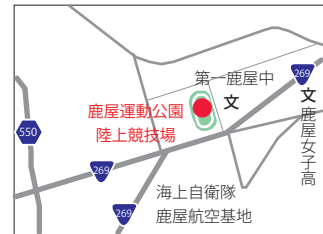


今



今年9月に開催された鹿屋女子高校の体育祭。同校の校舎が建設中のため、同競技場での初めての開催となった。

秋晴れの陸上競技場で一斉にラジオ体操をする中学生たち。「第2回市民体育祭」が行われたこの日、約15,000人の市民が集まり、各校区ごとの華やかな応援合戦や婦人会によるマ스ゲームなどを大いに楽しみました。昭和33年に完成した陸上競技場は、陸上競技以外にも市民の健康づくりの場として、今も親しまれています。



太陽国体でのバレーボール競技の熱戦。一般男子・一般女子・教員男子・高校男子・高校女子の種目が行われた。

いよいよ来年、国内スポーツの祭典、国民体育大会(以下、国体)が県下一円で開催され、市内でも4競技が実施されます。
「太陽国体」は、今から47年前の昭和47年、県内で開催された国体です。県内21市町67会場で31競技が実施され、市内でも夏季大会の漕艇競技と、秋季大会のバレーボール競技が行われました。
漕艇競技の会場となったのは大隅湖。9月17日から4日間にわたって、全国の165クルーが出場し、湖上で熱戦を繰り広げました。
そしてバレーボール競技では、市体育館と市内の4高校が会場となり、10月23日からの4日間、白熱した試合が展開されました。
また、この国体開催にあたって

この行幸啓・行啓にあたっては市内に交通規制がかけられ奉迎場所が設けられるなど、市民総出による歓迎がなされました。
なお太陽国体で県勢は、男女総合優勝、女子総合一位の成績で天皇杯・皇后杯を獲得。来年の国体でも県勢の活躍が期待されます。

は、皇族が続々と来市。漕艇競技開催直前の9月15日には、当時の皇太子・同妃両殿下(現在のの上皇・上皇后陛下)が市内を行啓され、市役所や高齢者施設、星塚敬愛園を訪問されました。
そして10月23日には、昭和天皇・皇后がバレーボール競技を観覧するために、市内を行幸啓。昭和天皇が市体育館を訪れると「会場は感激にわきあがった」と、当時の「広報かのや」は伝えています。



市体育館でバレーボールを観覧された昭和天皇

カノヤタイムトラベル

「太陽国体」がやってきた!

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ!